

漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

令和3年2月15日発行 毎月1回15日発行 編集兼発行人 公益社団法人 全国漁港漁場協会 橋本 牧 東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階 電話 東京(5114)9981 定価 1部 70円 (会員の購読料は会費の中に含む)

漁港漁場漁村整備議員連盟が総会

漁港漁場漁村整備議員連盟(会長・衛藤 征士郎衆議院議員)は、2月5日午前8時から自民党本部で総会を開き、令和2年度の会務・会計報告を行うとともに、令和2年度水産基盤整備関係第3次補正予算及び令和3年度水産基盤整備関係予算案並びに漁港漁場整備長期計画検討委員会について水産庁から説明を受けた。



挨拶する衛藤会長

金子泰之幹事長(衆議院議員)の司会で議事が進められ、最初に、衛藤会長から「皆様方には、日頃より、漁港・漁場・漁村の整備促進にあたり多大なご尽力を賜っていることに感謝申し上げます。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、医療関係者に大きな犠牲を強いているほか、人や物の交流が滞り、社会・経済全体が大きなダメージを受けている。コロナ禍から水産業を守り、再び成長産業化を図ることが議員連盟の大きな目標である。また、大規模な地震・津波や猛威を増している大型台風、

今後の積極的活動を願っています。挨拶があった。続いて宮内秀樹農林水産副大臣から「漁港漁場漁村整備議員連盟の先方には平素の指導とお世話になっておられる。令和3年度予算と令和2年度第3次補正予算の確保にあたり先方のご支援に感謝する。漁港漁場の整備をしっかりと行い、地域が活性化できるよう頑張ってきたので、ご協力をお願いする」と挨拶。続いて、金子幹事長が令和2年度の会務・会計報告を行うとともに、現在の会員総数は1,050名であることが報告された。

次に、山本竜太郎漁港整備部長から「令和2年度第3次補正予算及び令和3年度水産基盤整備関係予算案について、資料に基づき予算の考え方と具体的な内容の説明が行われた。また、漁港整備長期計画に関し、新たに設置された漁港整備長期計画検討委員会について、委員構成、1月10日に開催された第1回委員会の概要、今後のスケジュール等について並びに現在の長期計画の取組状況について説明が行われた。②面アスケジュール案を参照し、本議員連盟の活動の成果であり、感謝申し上げます。我が国水産業を支える各地域で、緊急にコロナ禍の影響を早急に取り戻すよう活動していく必要がある」と挨拶。先生方に

でお力添えをお願いいたしますとの説明があった。続いて、(公社)全国漁港漁場協会の橋本牧会長から「議連の先生方には平素の指導とお世話になっておられる。令和3年度予算と令和2年度第3次補正予算の確保にあたり先方のご支援に感謝する。漁港漁場の整備をしっかりと行い、地域が活性化できるよう頑張ってきたので、ご協力をお願いする」と挨拶。続いて、金子幹事長が令和2年度の会務・会計報告を行うとともに、現在の会員総数は1,050名であることが報告された。

漁村整備事業の創設など、地元の声を取り入れた様々な施策をお認めいただいた。これらの成果は議員連盟の先生方の強いお力添えの賜物であり、改めて、御礼申し上げます。また、新規事業では港湾背後での市場の一体的整備、高度衛生管理型荷捌き所の老朽化対策、

令和2年度 漁港漁場関係 担当会議 課長会議を 水産庁 水産庁は、1月26日農林水産省8階中央会議室を東京会場として、Skypeによるウェブ会議形式で各都道府県庁等を繋ぎ、令和2年度漁港漁場関係担当課長関係者約60名が出席した。

庁長官から「今年から来年にかけて検討が進められる新たな漁港漁場整備長期計画の策定は、水産政策の改革にシフトしていく必要がある。水産改革のために漁業法等が改正され、ガイドラインや政省令が整備された。昨年にも施行された。昨年はサンマやサケの不漁などがあつたうえでコロナ禍による水産物の需要停滞、価格下落も水産業者を取り巻く状況は厳しいものがあつた。これらにどう対応していくか、これを踏まえ、3次にわたる補正予算や予備費の充たなど、価格下落、流通滞り、労働力不足、不要因不明などについての様々な対策を打つてきた。水産業を取り巻く状況は大きく変化しているが、コロナを乗り越え、新しい時代を切り開き、将来を担う

た予算以上は、事業が着実に実行される。浜の未来に繋げていくよう、全国各地の関係団体及び会合を、お力添えを願っています。御礼申し上げます。その後、

「議員連盟としては、本日出席された先方からのご意見をしっかりと受け止めて皆様方とともに対応してまいります」と挨拶し、総会は閉会した。

本人出席の国会議員は次の通り(順不同、敬称略) 41名 (衆議院議員) 衛藤征士郎、井林辰憲、伊東良孝、小里泰弘、奥野直典、加藤寛治、金子恭之、金子寿夫、北村恭三、金子万寿、北村誠吉、木村次郎、古賀篤、後藤田正純、鈴木俊一、関芳弘、武部新、谷公一、宮岡誠、中村裕之、西田昭二、平口洋、福山守、藤丸敏、牧島かれん、松本剛明、宮腰光寛、宮澤博行、宮路拓馬、山本有二、渡辺孝一 (参議院議員) 石井正弘、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、加田裕之、進藤金日子、高野光一郎、滝波宏文、堂改茂、中西哲、舞立昇治、宮崎雅夫 代理出席は16名

若者に魅力ある水産業を引き継ぎたい。資源の適正な管理、水産業の成長産業化が重要であり、70年ぶりに漁業法を改正し、今年には名実ともに実行段階に入ってきた。漁業関係者には理解と協力を得られるよう丁寧に説明を続けていき、改正漁業法の下、新しい資源管理システムの導入、ICT、AIの活用によるスマート水産業、養殖業、水産物の需要停滞、価格下落も水産業者を取り巻く状況は厳しいものがあつた。これらにどう対応していくか、これを踏まえ、3次にわたる補正予算や予備費の充たなど、価格下落、流通滞り、労働力不足、不要因不明などについての様々な対策を打つてきた。水産業を取り巻く状況は大きく変化しているが、コロナを乗り越え、新しい時代を切り開き、将来を担う

「議員連盟としては、本日出席された先方からのご意見をしっかりと受け止めて皆様方とともに対応してまいります」と挨拶し、総会は閉会した。

「議員連盟としては、本日出席された先方からのご意見をしっかりと受け止めて皆様方とともに対応してまいります」と挨拶し、総会は閉会した。

「議員連盟としては、本日出席された先方からのご意見をしっかりと受け止めて皆様方とともに対応してまいります」と挨拶し、総会は閉会した。

担当者各課の業務を説明 引き続き、小幡浩一整備課長が「本議員連盟の活動の成果であり、感謝申し上げます。我が国水産業を支える各地域で、緊急にコロナ禍の影響を早急に取り戻すよう活動していく必要がある」と挨拶。先生方に

「議員連盟としては、本日出席された先方からのご意見をしっかりと受け止めて皆様方とともに対応してまいります」と挨拶し、総会は閉会した。

